

令和6年度横浜市病院協会事業報告

1 医師の働き方改革対策（公益事業）

- （1）地域医療検討会（市内7方面別）の枠組みを活用して意見交換を行った。

また、各病院（特に救急病院）における時間外労働の上限規制となる「水準」の状況・医師の働き方改革施行後調査結果について、情報共有を行った。

- （2）医師の働き方改革施行後の救急医療を始めとする地域医療への影響などを注視しながら、必要に応じて会員病院への支援などを検討しました。

2 新型コロナウイルス等感染症対策(公益事業)

- （1）熱中症と新型コロナ等の増加時に会員病院に救急医療と新型コロナ対応等との両立への協力依頼を行うなど、地域医療の機能維持・確保に取り組んだ。

- （2）新型コロナについては、引き続き感染動向等を注視しつつ、必要に応じて対応してきました。

3 救急医療対策(公益事業)

- （1）二次救急の拠点病院方式を中心とした横浜市救急医療体制に基づき、事業の円滑な運営と、救急応需のため積極的に取り組んだ。

二次救急医療に対応する各病院の構成区分は、拠点病院Aが11病院、拠点病院Bが11病院、合わせて22病院、輪番参加病院数は28病院となっている。

加えて、病院協会として二次輪番（内科・外科・小児科）当番日の設定や変更にかかる必要な調整、とりまとめを行い、救急実績を集約して市に報告した。

応需実績は、拠点A、輪番、小児拠点のいずれも、2023年度をピークに微減となっている一方で、拠点Bは微増となっている。

今後、高齢者の増加による救急医療需要の更なる増加が見込まれる中で、持続可能な救急医療体制の構築に取り組んでいく。

【拠点A】			【拠点B】			(単位：人)
区分	救急車	救急車以外	合計	救急車	救急車以外	合計
2024	58,034	57,828	115,889	35,329	31,080	66,409
2023	61,663	60,385	122,048	34,921	30,798	65,710
2022	56,490	57,701	114,191	32,038	30,556	62,594
2021	50,343	54,216	104,559	29,162	29,739	58,901
2020	42,765	47,546	90,311	27,321	27,709	55,030

【輪番（内・外、小児）】			【小児救急拠点】			
区分	救急車	救急車以外	合計	救急車	救急車以外	合計
2024	22,291	29,578	51,869	8,254	16,906	25,160
2023	22,411	33,289	55,700	10,762	18,371	29,133
2022	17,422	28,861	46,283	9,560	16,034	25,594
2021	16,767	28,216	44,983	6,554	12,403	18,957
2020	14,744	24,928	39,672	3,841	7,980	11,821

(2) 心疾患、脳血管疾患、産科、整形外科等の救急医療に取り組んだ。

4 災害時医療対策(公益事業)

- (1) 横浜市の災害医療連絡会議及に参画し、災害時医療に対応する連携体制の確保を図った。
- (2) 各区に設置された災害医療連絡会議に会員病院が参加し、協議及び意見交換を行った。
- (3) 横浜市病院協会として、横浜市防災会議のメンバーに加わり横浜市における防災上の課題解決に取り組んだ。
- (4) 新たに横浜市病院協会の会員が横浜市災害医療アドバイザーとして参画した。

5 医療情報の収集、発信及び広報(公益事業)

- (1) 協会のホームページ「ヨコハマ医療の扉」の効果的、円滑な運用に努めた。

[ホームページ運用状況]

ホームページアクセス数： 63,172 件 (172 件/日)

時間外診療受付病院アクセス数：16,680 件 (45 件/日)

- (2) 医療・保健・福祉に関する情報を随時、会員病院に提供した。

6 地域医療連携の推進(公益事業)

- (1) 横浜市医師会など医療関係団体との連携を強化する等、地域医療体制の充実向上を図った。

- (2) 地域医療検討会（市内7方面別）を開催し、各医療機関間の情報共有や意見交換を行った。

開催回数：14回（臨時開催含む）参加医療機関：延252病院
なお、「地域医療連携等に係る意見交換会」は開催されなかった。

7 行政、医療機関団体等との連携強化及び政策提言(公益事業)

- (1) 令和7年度横浜市予算編成についての要望書を提出した。また、物価高騰に対する支援も臨時で要望した。
- (2) 横浜市保健医療協議会に参画し、医療行政に対して必要な提言や要望を行った。
- (3) 地域医療構想調整会議に参加し、市内7方面での地域医療検討会の状況を報告し、それらを踏まえて協会としての意見の反映に努めた。
- (4) 横浜市医療安全推進協議会に参画し、横浜市の医療安全窓口との連携強化を図った。
- (5) 横浜市の各種委員会（認知症施策検討会、人生の最終段階の医療等に関する検討会、医療的ケア児・者等支援検討委員会等）に参画し、施策の検討等を行った。
- (6) 横浜市医師会の地域医療事業部会、医療福祉事業部会、勤務医事業部会において議論に加わるとともに、各夜間急病センター運営委員会に参画し、地域医療向上に向けた研究、検討を行った。
- (7) 県立病院機構、市立大学病院等公的病院の運営に係る委員会・幹事会に参加した。

8 学術研究、講演会及び研修会開催(公益事業)

下記の講演会・研修会を開催した。

- (1) 市民講演会

開催日：令和7年2月20日（木）

テーマ：「大きな「過度期」にある認知症治療」
～抗アミロイド治療とその先を見据えて～

講師：済生会横浜市東部病院

脳神経内科（認知症）部長 伊達 悠岳 氏

参加者：229人

- (2) 第25回学術講演会

開催日（対面及びライブ配信）

令和7年3月17日（月）16時～17時30分
オンデマンド配信

令和7年3月25日（火）～3月31日（月）

テーマ：「みんなで得しよう 医療DX（デジタルインフォメーション）」

講師：国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
病院長 長堀 薫 氏

参加者：41名（オンデマンド配信含む）

録画配信の再生回数：83回

（3）医療安全研修会（横浜市、横浜市医師会等との共催）

第1回 令和7年8月1日（木）19時～20時

テーマ「これで解決！医療クレーム対応・発展編
～事例から身につけるペイシェントハラスメントへの対応術～」

第2回 動画公開期間

令和8年2月28日（金）～4月30日（水）

テーマ「大規模地震を想定した医療機関における備え
～能登半島地震被災地支援での体験を踏まえて～」

（4）横浜市看護職員認知症対応力向上研修（オンライン開催）

研修修了者：80人

9 医療従事者の確保、定着促進(公益事業)

（1）医師の働き方改革について、地域医療検討会（市内7方面別）の枠組みを活用して意見交換を行った。

（再掲）

（2）看護専門学校の学生に対して、会員病院による病院説明会を開催した。

開催日：令和7年3月13日（木）

参加病院：51病院

また、奨学金制度、就職に向けた受け入れ希望病院等の情報提供を行った。

10 看護専門学校の運営

令和4年度に開始した新カリキュラムは、3年目を迎え、円滑に1サイクルを終えた。カリキュラムの重点項目である「地域を見る目」「臨床判断能力」「コミュニケーション力」「多職種協働」「ICT活用能力」については、一定の成果が見られる一方で、今後の課題も

明らかになってきた。実習においては、2022（令和5）年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、引き続き感染対

策を講じつつ、関係病院・施設のご協力のもと、予定通り実施することができた。

国家試験の受験結果は、97.3%の合格率であった。また、卒業生の就職希望者の98.6%が市内医療機関に就職した。

令和7年度入学希望者への学校説明会等は前年度とほぼ同じ日程で開催し、定員の79人の入学予定者を確定した。また、受験者数は前年度から約2割減少となった。

昨年度に引続き、令和3年度に策定した老朽化調査及び中長期保全計画に基づき設備改修等工事を実施した。

(1) 学生数

学 生	在籍者数 (令和6年4月1日)	退学者数	原級 留置者数	進級又は卒業生 (令和7年3月末)
1 学年	84 人(5 人)	8 人(0 人)	5 人(0 人)	71 人(5 人)
2 学年	78 人(12 人)	5 人(1 人)	11 人(0 人)	62 人(11 人)
3 学年	77 人(10 人)	1 人(0 人)	2 人(2 人)	卒業生 74 人(8 人)
総 数	239 人(27 人)	14 人(1 人)	18 人(2 人)	207 人(24 人)

() 内は内数で男性数

(2) 令和7年度入学者試験結果

受験区分			試験日	受験者	合格者	入学者
特 別 入 試	高校生	指定校	令和6年10月19日	15 人	15 人	15 人
		公募校	令和6年10月19日	17 人	17 人	17 人
	学 士		令和6年10月19日	3 人	3 人	2 人
	社会人		令和6年10月19日	30 人	27 人	25 人
一 般 入 試	第Ⅰ期		令和6年11月23日	17 人	16 人	16 人
	第Ⅱ期		令和7年2月1日	4 人	4 人	4 人
計				86 人	82 人	79 人

(3) 第28回卒業生(令和7年3月卒業)の就職状況

病院への就職		進 学	その他	卒業生合計
横浜市内	横浜市外			
68 人	1 人	1 人	4 人	74 人

(4) 第114回国家試験受験結果

(試験日:令和7年2月16日 合格発表:同年3月24日)

区 分	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
新卒者	74 人	72 人	97.3%	95.5%
既卒者	4 人	2 人	50.0%	44.9%
合計	78人	74人	94.9%	90.1%

(5) 主な学校行事

年月日	行事名	人数
令和6年4月7日(金)	第30回入学式(1年生 79人)	
6月8日(土)	第1回学校説明会	参加者 58人
6月22日(土)	第2回学校説明会	参加者 37人
7月27日(土)	第3回学校説明会・オープンキャンパス	参加者 83人
7月22日(土)	第4回学校説明会・オープンキャンパス	参加者 54人
8月31日(土)	第5回学校説明会	参加者 56人
9月21日(土)	第6回学校説明会	参加者 13人
10月5日(土)	第7回学校説明会	参加者 9人
10月19日(土)	令和7年度入学・特別入学試験	受験者 65人
11月9日(土)	第8回学校説明会	参加者 18人
11月23日(土)	令和7年度入学・一般入学試験Ⅰ期	受験者 17人
12月5日(木)	宣誓式(旧戴帽式(2年生 72人))	
令和7年2月1日(土)	令和7年度入学・一般入学試験Ⅱ期	受験者 4人
2月16日(日)	第114回看護師国家試験	受験生 78人
2月27日(木)	創立30周年記念特別講演会	参加者 247人
3月3日(金)	第28回卒業式	3年生 74人

(6) 学生募集の取組

ア 推薦入試指定校17校及び一般校4校の高校訪問を行った。

イ 受験志望者やその保護者が学校説明会に参加しやすいよう、土曜日に説明会を8回開催し、参加者数は328人だった。

ウ 平日を中心に個別の学校説明を実施し、参加者は10名だった。

エ 民間事業者が主催する進路ガイダンスに23回参加し、高等学校等に出向き学校説明を行った。

オ 本校ホームページによる学校情報や受験案内の発信を行った。

(7) 看護師国家試験対策

- ア 早期からの看護師国家試験模擬試験を実施した(3年生9回・2年生3回・1年生1回・計13回)。
- イ 看護医療系学校受験対策の専門講師による学内補講を7日間実施した。
- ウ 学力強化が必要な学生を対象に学内教員ゼミを実施するほか、民間の予備校講座の活用を図った。
- エ 専任教員の国家試験対策力を向上させるため、国家試験対策セミナーを受講した。

(8) 会議・委員会・研修会

- ア 学校運営会議を13回開催した。そのうち外部委員を入れた会議を2回実施した。
- イ 学校関係者評価委員会(外部委員)を2回開催した。
- ウ 学校評価委員会を4回開催した。
- エ 職員会議を12回開催した。
- オ 入試委員会を10回開催した。
- カ 防火・防災対策委員会を2回開催した。
- キ その他にカリキュラム委員会、実習委員会、学生指導委員会を開催した。

11 収益事業(収益事業等)

- (1) 看護専門学校隣接駐車場の管理運営を行った。
- (2) 看護専門学校過去入試問題集の販売を行った。
- (3) 横浜スタジアム医務室の診療受託事業を実施した。

12 医療従事者の顕彰、福利厚生の実施(収益事業等)

- (1) 随時、会員の慶弔に協会として対応した。
- (2) 会員の親睦を図る懇親会、新年祝賀会をコロナ禍前の規模に戻して開催した。
- (3) 協会から神奈川県、横浜市に対して表彰の推薦を行った。
- (4) 会員病院が開催する市民公開講座等に対し支援を行った。
(10病院)
- (5) 協会報第73号、第74号を発行した。
- (6) 協会ニュース速報を12回(No.310～No.321)発行した。

13 管理運営その他(法人)

(1) 会員数 (令和 7 年 3 月 31 日現在) : 105 病院

(2) 第 75 回定時総会を令和 6 年 6 月 26 日に開催した。

総会においては、令和 5 年度の事業報告・決算が審議され承認された。

(3) 理事会を 11 回開催し、理事会の結果は速報として会員病院に情報提供してきた。

(4) 常任理事会を 9 回開催した。

(5) 部会等の開催

救急医療、地域医療、教育・研修等にかかる各種部会を必要に応じ、随時開催した。